

- 職員研修実施状況 ※別紙参照
- 利用者状況 ※別紙参照
- 生活介護支援状況 ※別紙参照
- 主な行事の実施状況 ※別紙参照
- 非常災害対策 希望の園事業継続計画 BCP ※別紙参照

7. 意見交換 意見及び感想をいただく

○S氏（利用者家族の代表者）

- ・男子ホールが寒く感じた。
⇒ホール内のエアコンの温度調節を行う。
- ・福祉に関することを尋ねられた時は、福祉関係機関に行くか民生委員に相談してと話をしている。

○S氏（民生委員会長）

- ・施設の受け入れ年齢は、入所するにはどうしたらいいか。
⇒18歳以上の方が対象になっている。
地域の相談機関（相談支援センター）からの問い合わせでお答えしている。その他、支援学校や他事業所、同法人内からの問い合わせがある。
- ・福祉に関して、包括支援センターと社会福祉協議会と連携しており、住民の窓口は民生委員であると思うので、色々アドバイスをしている。

○U氏（行政の担当者）

- ・相談に関しては、メイプル地下の地域包括支援センターに委託している。申請した人と計画書を作成し手続きを進めている。
- ・生活介護と入所支援の相談件数は。
⇒見学や空き状況の問い合わせで今年度は4件である。

○S氏（福祉事業に知見のある者）

- ・希望の園は古い建物で個室もないが、新しい場所や土地を広げることは難しいと思われる。今後建物が何年もつかハード面で心配である。車椅子の方も多く、今後も増えていくと思われるが打破する手立てがない。感染症の時に隔離する場所もなく、コロナの時職員は大変な思いをした。
⇒物価が高騰し、建物の改築に係る費用も2倍になっており、助成金ももらえない状態である。昭和54年に創立し改修を重ねてきた。来年度は床の張替えを予定している。ハード面では課題が多く移転改築したいと考えてもいるが難しい現況である。将来的な不安は尽きず担い手（働く人）不足も大きな課題となっている。

○K氏（利用者の代表者）

- ・希望に来て30年。新しく建物を建ててほしい。

8. 閉会

- ・園長～貴重なご意見ありがとうございます。希望の園の建て替えは現状では難しいと思うが、利用者さんが楽しく生活できる環境を整えていきたいと思います。